

民間企業等との連携協定の締結状況に関する調査（結果）

1 調査の内容

(1)目的

市民等と市との協働による市民主体のまちづくりを推進するに当たり、民間企業等[※]との連携協定の締結状況を把握するため。

※ 民間企業等…民間企業，教育機関，研究機関，公益法人，他の自治体等

(2)調査対象

民間企業等との間で締結した，まちづくり全般または特定分野における連携・協力の内容について取り決めた協定のうち，令和元年 5 月 1 日において有効であるもの。

（指定管理業務に関する協定等の定例的な事業の実施に関する協定は除く。）

(3)調査期間

令和元年 5 月 20 日～6 月 20 日(一か月間)

2 調査結果

① 該当部局数

全庁 25 部局のうち、

- ┌ 該当あり: 18 部局
- └ 該当なし: 7 部局

②協定数(内訳は右のとおり)

226 件

③平成 30 年 3 月 1 日以降に

締結した協定数

28 件

④前回調査時(平成 30 年 2 月 28 日時点)

より無効となった協定数

12 件

【部局別協定数】 ※降順

防災安全部	65
環境部	36
経済部	27
土木部	23
上下水道部	18
福祉保険部	14
総合政策部	8
子育て支援部	6
消防本部	6
保健所	5
地域振興部	4
観光スポーツ交流部	4
総務部	2
市民生活部	2
建築部	2
社会教育部	2
農政部	1
市立旭川病院	1
会計課	0
税務部	0
学校教育部	0
議会事務局	0
農業委員会事務局	0
選挙管理委員会事務局	0
監査委員事務局	0
合計	226

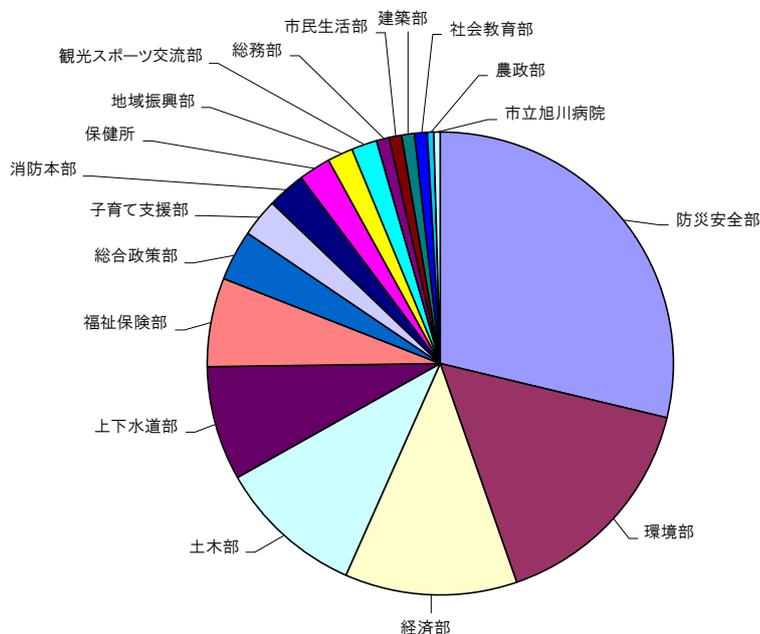
3 集計結果の詳細

(1)部局別集計

①集計結果

【部局別協定数】 ※降順

部局名	件数	割合
防災安全部	65	28.8%
環境部	36	15.9%
経済部	27	11.9%
土木部	23	10.2%
上下水道部	18	8.0%
福祉保険部	14	6.2%
総合政策部	8	3.5%
子育て支援部	6	2.7%
消防本部	6	2.7%
保健所	5	2.2%
地域振興部	4	1.8%
観光スポーツ交流部	4	1.8%
総務部	2	0.9%
市民生活部	2	0.9%
建築部	2	0.9%
社会教育部	2	0.9%
農政部	1	0.4%
市立旭川病院	1	0.4%



②結果分析

民間企業等と最も多くの連携協定を結んでいるのは、「防災安全部」(65 件)であった。協定の内容としては災害発生時の協力・支援に関するものがほとんどであり、協定の相手方とある企業等も、医療機関をはじめ、建設・運輸・通信・小売業など種々様々となっている。

次いで多いのが「環境部」(36 件)である。主要なものとして、自然保全や公害防止に関する協定、小売業系企業と締結したマイバッグ推進・レジ袋削減等に関する協定、周辺自治体と締結した廃棄物等処理に関する協定が挙げられており、同内容の協定を複数の相手方と結んでいることから総数が多くなっている。

続いての「経済部」(27 件)については、業務性質上さまざまな業種の企業と連携を取る機会が多く、主に小売業、金融業の企業との協定が挙げられた。このほか、旭山動物園が締結した協定が 13 件あり、各種研究機関との研究・調査に関する協定、国内外の動物園との連携に関する協定などを結ぶことによって積極的に民間との協働を図っている点が特徴的といえる。

(2)分野別集計

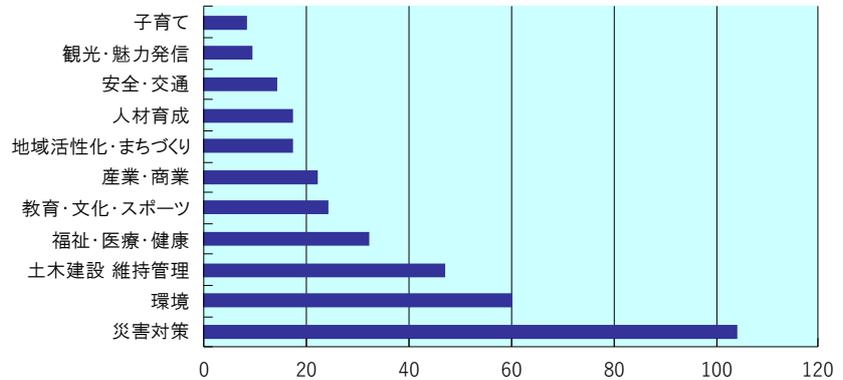
回答のあった協定について、協定の目的や内容から推測される分野ごとの該当数をまとめた。なお、一つの協定に対し複数の分野に該当することもある。

①集計結果

【分野別協定数】 ※降順

分野	件数
災害対策	104
環境	60
土木建設 維持管理	47
福祉・医療・健康	32
教育・文化・スポーツ	24
産業・商業	22
地域活性化・まちづくり	17
人材育成	17
安全・交通	14
観光・魅力発信	9
子育て	8

分野別協定数



【部局と協定の分野との関連性】

部局名	協定数	協定の分野											該当分野数	
		災害対策	環境	土木建設 維持管理	福祉・医療・健康	教育・文化・スポーツ	産業・商業	地域活性化・まちづくり	人材育成	安全・交通	観光・魅力発信	子育て		
総合政策部	8		5		6	5	6	5	1	1				7
地域振興部	4	2	1	1						1				4
総務部	2				1		1	2	1	1	1			6
防災安全部	65	65												1
市民生活部	2	2	2		1	1	1	2		1	2	1		9
福祉保険部	14	2	2		14				1	1				4
子育て支援部	6				1							6		2
保健所	5	1			4									2
環境部	36	2	36											2
経済部	27	8	14	3	2	13	13	4	10	2	4	1		11
観光スポーツ交流部	4		1		1	2		3		1	2			6
農政部	1					1	1	1	1					4
建築部	2			2										1
土木部	23	1	1	23					1					4
消防本部	6	6			1					6				3
社会教育部	2					2			1					2
上下水道部	18	15		18										2
市立旭川病院	1				1				1					2
合計		104	60	47	32	24	22	17	17	14	9	8		

※該当分野数が 11 分野の過半数を超える場合には欄を塗りつぶしている。

②結果分析

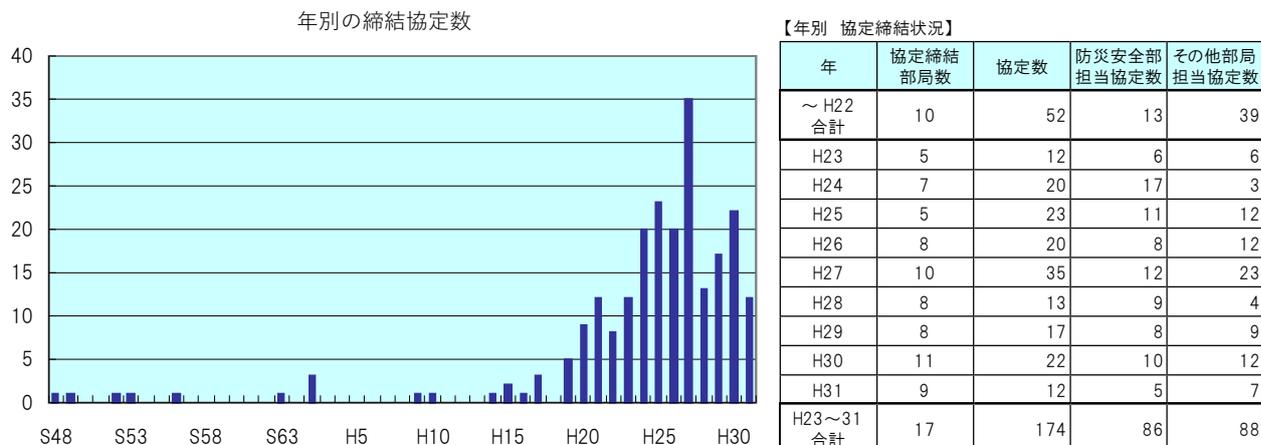
【分野別協定数】の表を見ると、突出して多いのが「災害対策」に関する分野(104 件)である。

このうち「防災安全部」が災害時の応援・復旧に関する協定(65 件)を結んでいる。他にも、「消防本部」が消火活動に関する協定(6 件)、「上下水道部」が水道インフラ復旧に関する応援協定(15 件)、「経済部」が飲食料品小売業の企業との応急物資提供に関する協定(8 件)を結ぶなど、災害に対する多面的な協力体制が備えられていることが分かった。

また、上記の【部局と協定の分野の関連性】という表を見ると、該当分野数が多い部局と少ない部局がある。該当分野数が多いということは、その部局が複数分野に亘る包括的な協定を締結していることを指し、反対に少ない部局は締結している協定の分野が限定的であることを指す。この該当分野数の多い部局としては「総合政策部」「総務部」「市民生活部」「経済部」「観光スポーツ交流部」が挙げられた。

(3)年別集計

①集計結果



②結果分析

調査で挙げられた全 226 件の協定を締結した年別に見ると、古くは昭和 48 年(1973 年、日本製紙株式会社との公害防止に関する協定)に遡る。それから平成 20 年前後までは 1 年に数件程度、合計 52 件の締結状況であったが、平成 23 年頃を契機に協定数が格段に増加し、10 年足らずで 3 倍以上になった。(右表参照)

この要因として、東日本大震災をきっかけとして災害への関心度が高まり、防災に関する協定が続々と締結されたことが考えられる。表には防災安全部とそれ以外の部局の担当協定数を分けて記載しているが、平成 23 年以降の締結協定数の約半数を防災安全部が占めており、協働の重要性に対する認識の高まりがうかがえる。

また調査から見える特徴として、協定の締結部局数が平成 20 年以前は 10 部局、平成 23 年以降は 17 部局に増えている。このことにより、幅広い業務分野において民間との協働が進められてきたことが分かった。

(4)取組実績・予定

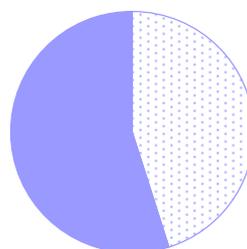
①集計結果

【事業実績・予定】

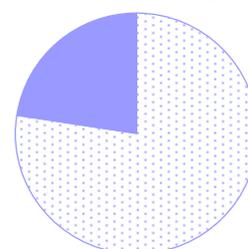
	平成30年度 事業実績	令和元年度 事業予定
あり	102	175
なし	124	51

あり
なし

平成30年度事業実績



令和元年度事業予定



②結果分析

平成 30 年度事業実績については、124 件が「実績なし」としているが、このうち 82 件が災害時・危機発生時の対応に関する協定であり、対応に係る事案が発生しなかったために実績がなかったものである。また、それ以外にも「環境保全・公害防止に関する協定」が実績・予定なしとして回答があったが、事業としては実施していないだけで日常的に取り組まれているというものもあると考えられる。

4 総括

今回の調査では 226 件の連携協定が挙げられた。回答のあった部局は全 25 部局中 18 部局(72%)であるが、このうち 6 部局(防災安全部・環境部・経済部・土木部・上下水道部・福祉保健部)で 81%を占めるなど、部局間の協定数にはかなりばらつきがあることが分かる。

協定の内容からは、くらしの様々な分野にわたって民間との協働が進められていることが分かった。業務の性質上、民間企業等との関係の深さは部局ごとに異なり、それが協働の必要性や有効性の差にも影響を及ぼしていると考えられるが、近年の協働に対する意識の高まりから、幅広い場面で協働が進められていることがうかがえた。

また、締結の時期については平成 23 年頃から締結数の増加が見られた。前述のとおり、東日本大震災という災害を契機として、行政単独では解決できない社会課題に対して多様なステークホルダーが連携して取り組むことの重要性が広まった結果だと考えられる。以降、近年においても継続して一定程度の締結数が挙げられていることから、今後も幅広い分野での協働が進められることを期待する。